

青少年健全育成
市民会議

令和7年度「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」
絵画・標語の優秀作品

絵画



標語



中学校の部
豊中中学校1年 筒井 萌々香



小学校・高学年の部
大見小学校5年 竹内 旭



小学校・低学年の部
上高瀬小学校2年 大平 亮太

少年
育成
センター



中学校の部
高瀬中学校2年
近藤 誠史郎



小学校・高学年の部
上高瀬小学校5年
大塚 理央



小学校・高学年の部
上高瀬小学校5年
大平 寛太



小学校・低学年の部
比地大小学校3年
後藤 未琴



小学校・低学年の部
仁尾小学校3年
眞鍋 瑠玖

『あいさつの その一言が 応援歌』
中学校の部 三野津中学校2年 山口 凜華
『手と手と手と手 かさなる しあわせ
あったかい』
小学校の部 比地大小学校3年 近藤 智暉

『かなえない 殺処分ゼロ やさしい日本』
中学校の部 三豊中学校1年 大西 柚子
『フォトグラファー カメラの中に みんなのえがお』
小学校の部 山本小学校6年 大矢 萌乃夏
『あいさつの 先にはあなたの いい笑顔』
小学校の部 二ノ宮小学校4年 白井 想真

▶問い合わせ 少年育成センター ☎73-3150



国民年金のお知らせ

市民課 73-3005
普通年金事務所 0877-62-1662

20歳になったら国民年金に加入

国民年金は20～60歳の人が加入し、保険料を納める制度です。厚生年金や共済組合に加入していない人が20歳になると、日本年金機構からお知らせが届きます。免除申請などの手続きを行わず未納のままにすると、年金が受け取れない場合があります。

- 老齢年金…高齢期を迎えたとき
- 障害年金…病気などで障がいが残ったとき
- 遺族年金…家族の働き手が亡くなったとき

学生納付特例制度とは

20歳以上の方は、学生でも国民年金に加入し、保険料を納めなければいけません。しかし、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予されます。

年金事務所からのお知らせ

年金請求手続きや年金相談を年金事務所で行う人は、事前に予約してください。予約の際には、基礎年金番号が分かる書類を準備してご連絡ください。

対象

大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上である課程）に在学する人

予約受け付け専用電話 ☎0570-05-4890

開所日時

月曜 午前8時30分～午後7時
火曜～金曜 午前8時30分～午後5時15分
第2土曜 午前9時30分～午後4時
※月曜日が祝日の場合、翌開所日の初日が、午前8時30分～午後7時になります。

申請の手続き

次のものを持って、市民課、各支所または年金事務所で手続きをしてください。

- 基礎年金番号が分かる書類
- マイナンバーカードなど本人確認ができるもの
- 学生証のコピー（有効期限が表記されているもの）または在学証明書（原本）



原付や小型特殊自動車(農耕用含む)に ナンバープレートをつけましょう

税務課 73-3006

ナンバープレート

課税対象であることを示す課税標識です。使用の有無や公道を走行するしないに関わらず、車両への装着義務があります。

ナンバープレートが付いていない小型特殊自動車などを持っている人は、必ず、税務課または各支所で標識交付申請手続きを行ってください。

※乗用のトラクター、コンバイン、田植え機、農耕作業用トレーラなどを所有している人も、市へ登録することが義務付けられています。

※標識返納（廃車）は、「廃棄」「譲渡」「転出」「盗難・紛失」の場合に限り、受け付けます。標識が無いまま車両を所有している期間も、さかのぼって課税される場合があります。



軽自動車税

次のものを所有しているという事実に対して、所有者に課税され、納税義務が生じます。

軽自動車税がかかるもの

- 原動機付自転車
- 農耕用を含む小型特殊自動車
- 三輪または四輪の軽自動車
- 二輪の小型自動車

じんけん探訪116

見つめ直してみませんか
自身の『アンコンシャス・バイアス』

皆さんは、無意識のうちに「こうだ」と思い込むことはありませんか。

- ・「普通」は、〇〇だよ。私には理解できないな。
- ・血液型が〇型の人の性格は、〇〇でしょう。
- ・あの人は〇〇世代だから、考え方が違うよ。
- ・障がいがあるのに、野球ができるなんてすごいね。
- ・外国人なのに、箸の使い方が上手ですね。

これを『アンコンシャス・バイアス』と言い、日本語では、自覚のない「無意識の思い込み」などと表現されます。脳は情報の仕分けが得意で危険を察知する能力などの働きがありますが、自己中心的な解釈をしてしまう面もあり、それが「無意識の思い込み」につながるといわれています。

この意識を持つこと自体は問題ではなく、自身の「無意識の思い込み」に気付こうとしないことが問題です。決め付けや押し付けには、相手を窮屈な思いにさせたり傷つけたりしてしまう面があります。自分の「非常識」が相手には「常識」となる場合があるように、自分の「常識」が「非常識」とされる場合もあります。良かれと思っただけで相手を悲しませてしまっただけは、本末転倒です。

差別につながる「無意識の思い込み」を無くすには、多様な考え方を理解しようとする必要があります。それは、自身の自発的な成長となり、誰もが生きやすい社会づくりにつながります。

▼問い合わせ 学校教育課 ☎73-3131

